

第47回「映画を語る会」開催報告



—小雨降る晩秋のひと時、少し重たい映画を鑑賞しました—

1. 日時及び場所 2025.11.25（火）13：30—16：00 於・つくし野 C.C.ホール
2. 今月の映画 「護られなかった者たちへ」 2021 年 日本（134 分）
3. 参加人数 39 名 （男性 13 名 女性 26 名）
4. アンケート結果—映画について 20 名回答
 - ① 大変良かった 12 名 ② 良かった 8 名 ③ 普通（まあまあ）0 名
 - ④ つまらなかった 0 名 ⑤ 来なければよかった 0 名 （評価未記入 2 名）
5. アンケート結果—ご意見・ご感想（一部）
 - ・生活保護を受ける事が身の回りの人に迷惑をかけるという事が分かる。東北震災と組み合わせた物語に少し無理を感じた。女の子が人を殺すのにはやはり無理があった。
 - ・生活保護について考えさせられました。
 - ・倍賞美津子のお母さんが本当に素晴らしい。心の中が熱くなるようです。自分もつらい時でもつらい若者や子供を受け止める力に感動しました。
 - ・普段まずは見る機会のない系統の映画を見せていただきました。2013 年 3 月 13 日以降の自分の日記メモを思い出しています。様々な状況をこの映画は少カットで採り上げています。災害の爪痕から何を我々は学べるかわかりません。なお、配布頂いている資料は平易簡潔で素晴らしいです。参考データも適切ですね。今脳裏に走ったのはこの種の作品
 - ・生活保護の裏表の実態はこういうものかも！という違った見方が出来た。
 - ・3.11 がもたらした人々への影響や生活保護に関する事を改めて考えさせられた。
 - ・人間のもろさをしみじみ感じた映画でした。政府の力の無さも同じく・・・。
 - ・今年から紹介で仲間に入れていただき毎月楽しみにしています。毎月印象に残る映画を見せていただきありがとうございます。来年もよろしくお願い致します。

6. 予定：12 月、1 月は休み 、2026 年 2 月 20 日（金）

以上